

【協議】 わん丸君バス再編方針について

1. 再編の方針

現在の運行を基本として、各地区での課題の解消により、更なる利便性の向上を図る。

<現在の運行を基本とする理由>

- ・大規模な変更（路線等の全面的な見直し・デマンド交通の導入など）は、地域公共交通計画の策定により、地域の課題等を整理した後に行うことが望ましい。

<各地区での課題>

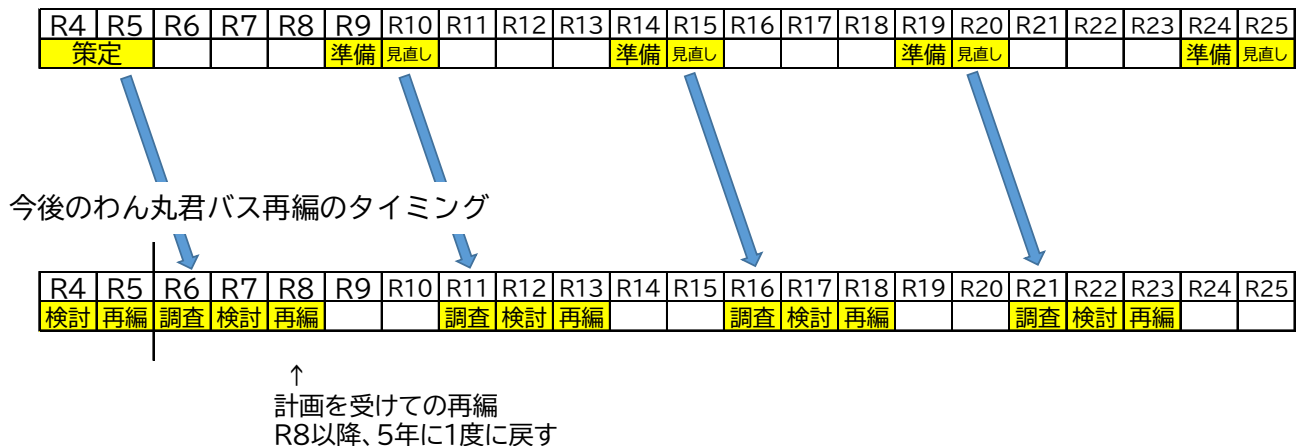
次ページ、「3. 令和5年12月の再編における検討内容」参照

2. 再編のタイミング（運行委託の契約期間について）

現状のわん丸君バス再編のタイミング(5年に1度)

R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25
検討	再編			調査	検討	再編			調査	検討	再編			調査	検討	再編			調査	検討	再編

公共交通計画(R5に策定し、その後5年毎の見直しを実施)



3. 令和5年12月の再編における検討内容

①危険なバス停の解消

愛知県バス停留所安全性確保合同検討会にて、安全性の確保が必要なバス停がリスト化されており、わん丸君バスのバス停については、22箇所が挙げられている。このリスト化されている全バス停について、移設・廃止（路線変更も視野に入れる）により、危険性を解消する。（別紙「資料6-2、6-3」参照）

②急行便の導入

市議会の一般質問で、楽田地区から名鉄犬山駅までの急行便の提案があった。（わん丸君バスで移動する場合、乗車時間が1時間近くかかる。）路線の増便や変更により、急行便の導入が可能であるか検討する。

③各地区での課題の解消

各町内会へ、わん丸君バス再編に関するアンケートを実施する。（7/1号広報差し込みにて、全町会長へ配布予定。）結果から得た課題の解決に向けて、路線・ダイヤ等を検討する。

④乗り継ぎダイヤの調整

昨年度、福島大学の吉田准教授から意見を伺った際に、「せっかく隣接市町に乗り入れしているのに、ダイヤ調整ができていない。」との意見があった。また、これまでのアンケート結果でも、ダイヤ調整が不足している旨の意見があったため、今回の再編にて調整を行う。

⑤土日運行の対応

これまでのアンケート結果や電話・窓口での問合せにおいて、わん丸君バスの土日運行の市民要望は多い。（前回の再編時でも要望が多かったが、「次回再編の際に検討する」と見送った。）

しかし、わん丸君バスの土日運行を実現するには、車両やドライバーの増員、それに伴う経費の増加等の課題がある。そのため、わん丸君バス以外の公共交通も含めて、土日の移動方法について検討する。